

透析センターの裏側を 覗いてみよう！



透析センターにいる臨床工学技士は、透析治療をしているだけではありません！透析治療を支えている大型装置たちの日々のメンテナンスも、大切な業務の1つです。

では、治療を支えている大型装置たちとは、一体どんなものなのでしょう？ご紹介します！



RO 装置

透析治療に使用する透析液は、この装置により作られる純粋な水（RO 水）に、専用の粉末を混ぜて作られます。

この装置により、水道水に含まれる塩素やミネラル類が除去されます。

セントラル装置

RO 装置で作られた RO 水に専用の粉末を混ぜ合わせ、透析液を作る装置です。

作った透析液を、患者さん一人一人の透析用装置に供給しています。



A・B 粉末剤自動溶解装置

透析液は、血液透析の重要な要素であり、患者さんの状態に応じて調整されます。透析液には、A 液と B 液の 2 種類があり、それぞれ異なる成分が含まれています。これらを RO 水に溶かし、セントラル装置に供給する装置です。



A 剤

入れ間違えないよう、
場所を分けて
保管しています！



B 剤



これら装置類の日々の点検や、
RO 水や透析液の水質チェック、
定期的な装置のメンテナンス等、
行っています。



※番外編



個人用 RO 装置

状態が悪く透析センターに来室できない患者さんの透析を行うために、患者さんのベッドサイドまで装置を運び、その場で RO 水を精製するための装置です。
いざというときに対応できるよう、日々の点検と水質チェックをおこなっています。

終わりに

安全な透析治療は、きちんとメンテナンスされた大型装置があつてこそ成り立っているのです！
臨床工学技士は縁の下の力持ちとして、日々、これら装置たちの保守管理業務に責任を持って取り組んでいます。